

No.14

1991年

(平成3年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院同窓会

岡山市紙園地先

TEL (0862) 75-0145

— 編集責任者 —

同窓会会長 堀内 絹江

祝 学院創立20周年

創立20周年を

皆様と御一緒に

同窓会会長 堀内 絹江



母校は創立20周年を迎えました。我が子誕生から20歳に成人するまでのプロセスを重ね合わせる時、紆余曲折を想わずにはいられません。開学当初、現在の姿が想像できたでしょうか。江草理事長先生を初め諸先生方の御尽力に敬意を表する次第であります。

母校は創立20周年を迎えました。我が子誕生から20歳に成人するまでのプロセスを重ね合わせる時、紆余曲折を想わずにはいられません。開学当初、現在の姿が想像できたでしょうか。江草理事長先生を初め諸先生方の御尽力に敬意を表する次第であります。

同窓会全会員の

名簿発刊について

先に昭和62年3月、学院創立15周年の年に全会員一八〇一名の名簿を作成配布いたしました。

今般、創立20周年記念の年に全会員二八一名の名簿を作成することとなりました。

会員の住所の調査にあたっては、昨年末から各年度幹事を依頼して御協力願ひ、その上更に学籍簿より御父兄の住所を頼りに会員の現住所をお教え願ひなどとして、住所不明者六六八名だったのが現在不明者は一五六名までに判明いたしました。

これに基づいて名簿作成に着手し十月末を完成の目標に頑張っております。

つきましては、同封の別紙名簿申込み振替用紙によってお申込み下さいますようお願いいたします。

なお一部二千元(送料共)と決定しております。御協力の程お願い申し上げます。

同窓会総会——御案内——

◆日時 十一月三日(日) 午後一時—二時

◆場所 母校図書館(第2号館)

※ 同期の方や、同じ職場の会員をお誘い合わせて学院祭への参加を兼ねて奮って御出席下さい。

学院創立20周年記念の年に

同窓会役員 本部役員

会長	副会長	幹事	書記	会計監査
堀内 絹江 (看1)	守屋 礼子 (看2)	小松 十四恵 (保7)	人見 和彦 (二看13)	西野 順子 (看1)
今谷 功子 (保1)	三浦 都子 (看3)	山本 基子 (看4)	羽井 佐米子 (看2)	藤原 新子 (保12)
田中 睦子 (一保5)	石井 正子 (一保3)	関元 友紀恵 (保12)		

同窓会員数

平成3年3月現在	
卒業生総数	2,818 名
保育科	743 名
福祉科	87 名
第1看護科	846 名
第2看護科	1,142 名

第20回学院祭御案内

◆日時 十一月三日(日)・四日(月)

※ 同窓会総会出席を兼ねて母校をお訪ね下さい。

学院だより

●学科名の改称

○保育科を児童福祉科に改称
 保育資格を取得して保育所へ務める保育と心身障害児者の社会福祉施設に務める保育の養成。

○福祉科を介護福祉科に改称
 介護福祉士の資格を取得して長寿社会における老人と身体障害者の介護にあたる専門職の養成。

●主年行事

○入学宣誓式(4月5日)

児童福祉科59名、介護福祉科53名、福祉情報科29名、第1看護科92名、第2看護科56名、総計289名が入学されました。

○修学旅行(9月3・6日)

第2看護科は実習の関係で1年生、それ以外の各科は2年生が合同で実施。沖縄、北海道南部、関東(東京、埼玉)、四国(高知)の4方面へ希望により分かれ、行先で社会福祉施設、病院の見学、交流を行います。

○キャンパスサービス(10月18日)

児童福祉科・介護福祉科・福祉情報科各1年生。学院講堂にて。

○就職式(10月22日)

第1看護科、第2看護科各1年生。学院講堂にて。

○創立20周年記念式(11月1日)

昭和46年4月開学から20周年の記念の年を迎えました。

○第20回学院祭(11月3・4日)

同窓会の皆様、総会もありますので多数お出掛け下さい。

○卒業演奏会(2月26日)

児童福祉科2年生。

●介護福祉士受験講座

介護福祉士国家試験を受験する人のための受験講習会を昨年に引続いて本年も開催し、多数の現場の方が受講しておられます。

本年の講座は、第一回が8月19日より連続4日間。第二回は9月7日より毎週土曜日6回でした。

●人事異動について

○退任の先生

顧問 三宅綾雄先生 御退職

福祉情報科 池本佐枝先生 御退職

看護科 義村冷子先生 御退職

旭川児童院へ転出

○新任の先生

顧問 吉田三郎先生

副学院長 星島嘉明先生

庶務課長 石井康男先生

介護福祉科 人見五枝先生

看護科 大山真弓先生

直原日出男先生

●在学生

平成3年度在学生数

学年	1年	2年	3年	合計
児童福祉科	59	35		94
介護福祉科	53	52		105
福祉情報科	29	11		40
第1看護科	92	88	89	269
第2看護科	56	57		113
小計	289	243	89	621

広島支部発足

広島支部長 加藤勝子

同窓生の皆様お元気ですか。今年に残暑がきびしく大変な毎日でした。先般、1月20日に広島ステーションホテルに於きまして岡山支部に続き、第2号として広島支部が盛大に発足いたしました。

その発足に際しては、何もわらないまま支部長という任務をお任せいただき、緊張の一日でした。そんな私を支えて下さったのが、同窓会長の堀内さんをはじめ、事務局の諸先生方のあたためた御支援でした。書面をもって御礼申し上げます。

同窓生22名とごじままりとした発足でしたが、阪本院院長の歴史の話や、笹野先生、守屋先生、山田先生その他のなつかしい先生方の参加によって心暖まる楽しい交流会を皆様

広島支部結成の集い



関西支部発足

関西支部長 小西敬子

同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。去る5月26日西中島南方のホテルコンソルトに於いて関西支部が盛大に発足いたしました。

卒業後初めてお逢いする先生、同期生、後輩の皆様となつかしい学院生活、近況等話はずきずき、終宴後も立ち話をするグループも見かけました。

岡山支部、広島支部の役員の方々の御協力を得て、無事に楽しく過ごさせていたゞきましたことを厚くお礼申し上げます。

2年後の同窓会には今回よりも多くの方々の出席を希望し、皆様方の御健康をお祈り致します。

関西支部結成の集い



広島支部役員

支部長 加藤勝子(看護1期)
 副支部長 今田京子(保育1期)
 幹事 小堀敬二(看護10期)
 上田良子(看護1期)
 松田恵尚(看護12期)
 山口節子(看護5期)
 西村あゆみ(看護17期)
 土居八重子(看護7期)

関西支部役員

支部長 小西敬子(看護1期)
 副支部長 榎野悦子(保育1期)
 幹事 守屋礼子(看護2期)
 大下光子(看護1期)
 岡野好子(看護1期)
 寺岡公子(看護3期)
 吉川千代子(看護5期)
 青木尚子(看護3期)
 堤田喜美子(看護1期)

支部誕生について

本学院同窓会会則第4条により、岡山支部、広島支部、関西支部が発足して同窓会の輪が大いに広がったことは誠によろこばしいことです。次に引続いて支部誕生の気運や活動がありましたら、本部へ御連絡下さい。御一緒に支部の発足に尽力いたします。



第2回岡山支部の集い

岡山支部長 西野 順子

炎暑も去り、爽やかな秋の季節となりました。皆様には益々御健勝のことと思います。

去る2月24日、まきび会館において、第2回岡山支部会を開催いたしましたところ、御多忙中にもかかわらず、多数御出席下さいまして誠にありがとうございます。第1回目とは違った盛り上がりとなり、親睦を大いに深めました。今後更に充実した支部会に発展するよう鋭意努力致す所存であります。本学院創立20周年記念式が11月1日舉行されることよりお慶び申し上げます。

20年前には、保育科、看護科だけでスタートした学院も現在では児童福祉科、介護福祉科、福祉情報科、第1看護科、第2看護科と福祉、医療の先端を進む学院であることを象徴しています。これからも益々の御発展をお祈り致します。

岡山支部役員

支部長 西野 順子(看護1期)
副支部長 今谷 功子(保育1期)
田中 幸子(看護1期)
石原 啓子(保育1期)
赤木 京子(保育6期)
土屋 教子(保育7期)
福田美智子(保育8期)
藤原 秀子(保育8期)
田中 睦子(看護5期)
安達 文子(看護8期)
伊丹富貴子(看護5期)

おたより

保育科

保育科 壁野 悦子(大阪市)
第1期生(旧姓 太田)

皆様いかに過ごしてしまわれたか。学院を卒業して早いものでもう十九年の年月がたつてしまいました。大阪に就職した私は、そのまますぐと大阪に根をおろし、結婚、出産、再就職と、それなりに人生を歩んで来て気がつくともうすぐ四十路に差し掛かろうとしています。現在も保育士として働いている、そ

のスタート地点は確かに旭川にあって、懐かしい旭川で、懐かしい一期生の皆様に会える日を楽しみにしています。

保育科 小山 玲子(岡山市)
第5期生(旧姓 森川)

皆さんお元気ですか。と書きながら、学生の頃を思い出しています。保育士として母として主婦として、それぞれ頑張っておられることでしょう。

私も二年前やっとなりとなり、毎日がベルトコンベヤーに乗っているがごとく過ぎていってしまいます。ひたすら自分の自由な時間がほしいと思いつつ……

そよ風のようなスーとなごむ話題をお知らせ下さい。待っています。又、皆さんでお茶でも飲む日、作りましょうね。その日が早く来るのを楽しみにしています。

どうか皆様御自愛下さいね。
保育科 井上三千代(岡山市)
第6期生(旧姓 岡崎)

同窓生の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。私の子供達も小学校四年生と幼稚園の年長と元気に育っております。

卒業後すぐに盲学校に就職して、今年で十四年目を迎えております。(その間、通信教育で教員免許も取得しました。)直接の教科指導はありませんが、点字指導・歩行指導等、何時間かあり指導書(手引書)とにらめっこしながら毎日頑張っております。

四年前から福祉科で点字指導にあたり、たれに田中隆志先生が点字指導を受け持ち、一番の楽しみは年度末に点字で提出してもらったレポートを読むことだそう。皆さんの考え、悩み等、若い感性の新鮮さに心はずむ思いがするそうです。点字を

覚えられた同窓生の皆様、時々点字の練習をかねて、お手紙の交換でもしませんか。最後になりましたが、保育科六期生の皆様、連絡を取りあい同窓会を開きましょう。

保育科 小林十四恵(倉敷市)
第7期生(旧姓 大熊)

保育科七期の同窓会が平成三年五月三日駅前三好野で開かれました。参加者十七名がだんだん減って八名になってしまったのは残念でしたが子育て真最中ではしかたないかな、次回ぜひ参加してね。その少人数の中でも思い出しで多いのは学院寮生活、バイト(院内)のことです。寮生活では本当にお金をかけずに食事を作りました。思い返してもよくあれだけのものでも喜んで食べたものです。

バイトも気持ちの中は院内のスタッフの一員という気持ちで勉強よりもバイトを優先していたというくらいうちこんでいましたね。あの時の二年があつて十数年たつて会っても、すぐ気持ちはあの時のままにどれほど。

思い出いっぱい二三年間をいつも心の片端において、生活の活力にもなっているかもしれないですね。次回は五年後にということにして別れがたい一日を経験しました。

いつかあつても昔の愛称そのままに話しの出来る友達って本当にいいですね。

保育科 近藤 美穂(岡山市)
第9期生(旧姓 井上)

みなさんお元気ですか。私は旭川市愛育寮に六年半勤めた後、結婚退職しました。今は我が家を守り家族の幸福を願って、日常の細々した仕事に精を出しています。ワンパクな三歳の長男とオンシャマな二歳の長女の言うこと、する事、元

卒業生数 (昭和48年3月～平成3年3月)

卒業回数 (年、月)	科	保育科	福祉科	看護科		計
				第1	第2	
1回(48.3)		28			43	71
2回(49.3)		24			55	79
3回(50.3)		25			68	93
4回(51.3)		16			79	95
5回(52.3)		23			88	111
6回(53.3)		32			69	101
7回(54.3)		36			102	138
8回(55.3)		40			54	94
9回(56.3)		34		36	57	127
10回(57.3)		52		56	47	155
11回(58.3)		54		50	53	157
12回(59.3)		52		73	53	178
13回(60.3)		58		85	52	195
14回(61.3)		48		101	58	207
15回(62.3)		36		87	54	177
16回(63.3)		51		87	57	195
17回(元.3)		56		100	49	205
18回(2.3)		31	50	92	48	221
19回(3.3)		47	37	79	56	219
合計		743	87	846	1,142	2,818

事務局からお願い

年一回の「同窓会だより」を全員にお届けするよう念願しておりますが、住所不明や移転先不明で相手が返送されて来ます。

会員の住所異動がありましたら、是非事務局へ届けて下さい。でないと今後同窓会だよりをお送りすることが出来ません。



気で明るくてユーモラスで、毎日がとても新鮮。いろんな苦労や心配もあるけれどその分、子供の成長が大きな喜びとなります。

子供の人生を大きく決定づけてゆくのは、お母さんの賢明さにあるといわれます。子供が伸び伸びと力を発揮していきけるよう接してあげるの一番です。ね。日々反省しながらも、過保護でなく人間としての基本をきちんと教えてやる母親でありたいと思っています。

保育科 笠原 佳子 (岡山市)
第10期生 (旧姓佐々木)

保育科十期生の皆様お元気でお過ごしですか？
卒業して早十年がたとうとしていますが、みんなそれぞれの場で、それぞれの花を咲かせていることと思います。

わたしは卒業以来あのブタさんのいた(時代の流れの中に豚舎もブタ工場も消えてしまいました)といづみ寮に勤務しています。毎日のランニングや畑作業は三十の身には少々きついこともありますし、年を重ねるにつれ精神的負担は増すばかりですが、それ以上に得るものは多く、この仕事に出会えたことを本当に感謝しています。

ブライベイトでは、現在結婚四年目に突入。残念ながら家族は増えないうちにまたみんなが集まって、あの頃のパワーを復活させたいですね。幹事さんよろしく！

保育科 広畑 千富 (井原市)
第10期生 (旧姓 寺岡)

御無沙汰しております。十期生の皆様お元気ですか？ 旭川厚生専門学院を卒業し、がむしゃらに突っ走って、気づいた時は十歳、年をとっていました。長い間短い様な年月でした。十年の間には色々な

事がありました。結婚して、同居して、二人の子供を産んで仕事をしながら子育てに励んでいます。

只今、上の女の子が二才九ヶ月、下の女の子が十ヶ月とまだまだ目がはなせない状態です。お姉ちゃんの方が、知っていて悪い事ばかりする反抗期みたいなんです。妹の方はというと、お姉ちゃんの方へ寄って行って泣かされていきます。毎日家の中はてんやわんやの大騒ぎです。だけど子供がいるだけで家の中がパッと明るくなりました。

ところで、ときわ学園という精華者更生施設に就職して色々な人達と出会いました。五十人の園生さん達、学院の先輩、諸先生方様々です。そのときわ学園も無事十周年を迎えました。

私も十年目に「同窓会だより」に投稿させていただいてラッキーです。これを節目として自分の力が続く限り、頑張っていきたいと思っています。これからも学院のますますの御発展を御祈りいたします。

保育科 足立 京子 (兵庫県)
第11期生 (旧姓 今井) (相原町)

大変御無沙汰しております。諸先生方、同窓生の皆さんお変わりありませんでしょうか。

学院は、今年で創立二十周年を迎え、そして私達が卒業し早九年以上が過ぎました。私のこの九年間といえは精進施設で三年間勤務し、勉強することの大切さを身にしみながら退職しました。そして結婚、只今、子育て真最中であり、二人の親となり、初めて入所生の親の思いが分りはじめて来ました。

山あり、谷あり、人生色々ですが、自分らしい人生を築けたら...と思っております。再会する機会は、ますます少なくなりますが、どうか、お身体を大切にそれぞれの場で頑張ってください。

保育科 中本 秀子 (岡山市)
第11期生 (旧姓 上森)

先生、みなさんお元気ですか。大変御無沙汰しておりますが、この八年余りの間に結婚、出産、退職、復職と色々な事がありました。現在は、一週間の内、旭川児童発達センターで臨時職員として二日働き、残りの五日は家業の野菜作りで汗を流しています。不器用な私ですから悩む事もありましたが、障害児から「一生懸命生きる事」又、保護者の方からは「明るさと親の子を思う気持ち」を感じさせていたのだき、いつも励まされてきました。家庭と仕事の両立は難しく忙しい毎日ですが、一日一日を前向きにすごしていきたいと思っています。十一期生のみなさんスパーマーケットで「小松菜」や「水菜」を見かけたなら「もしかするとデコ」の作った野菜かな」と思い出して下さい。

皆様の御健康と御活躍を心よりお祈りしますと共に、又お会い出来る日を楽しみにしています。

保育科 池上フジ子 (東京都)
第12期生

御無沙汰しています。皆様お変わりありませんか。学院を卒業して早八年目を迎えています。

学院時代の友人達は職場リーダー格又は結婚、出産と母親として頑張っているとの便り。私は現在看護学生として臨床実習の真っ最中です。毎日が苦悩の実習に、学院時代の友人の顔を思い出しながら、励みにして頑張っています。

途中挫折のない様に自分の進んだ道を後悔しない為に「卒業」を目標に頑張っていました。また皆様に笑顔で再会する時を楽しみにしています。どうぞ皆様も健康に十分気をつけてお過ごし下さい。

保育科 菅原 玲子 (倉敷市)
第12期生 (旧姓 人見)

通知を受け至りませんが近況を報告させていただきます。
岡山市内の保育園に勤め、早いもので八年目になりました。今年は一才児の担任となり、子どもに対しての言葉かけ、働きかけの難しさをあらためて感じているこの頃です。子どもへの何気ない言葉や態度から自分自身勉強させられることが多いです。

子どもはいわば白色の紙で保育はその紙に色をつける役だと思えます。その紙をにがらせないように子どもたちと一緒に生活していきたいと思っています。毎日です。

保育科 秋田日出子 (浅口市)
第15期生 (旧姓 辻) (鴨方町)

皆さんお元気ですか。早いもので学院を卒業して五年目になりますね。私は、今はえみ授産センターの三十人の仲間たちと元気に過ごしています。この仲間たちは、日々新しい問題を投げかけてくれます。時には腹立たしく思うこともあります。笑顔を見るとそんな気持ちもどこへやら...とにかくすばらしい仲間たちです。出会えてよかったと思っています。

家庭では、二年前に結婚した主人と日課のようにけんかをしながら楽しく過ごしています。二人とも旅行好きのこともあり、暇を見つけては小旅行に出かけています。特に信州が好きで二人で何度も行きました。信州の山を見るだけで満足だった私も職場の先輩(学院の先輩でもある)と主人の「夏山はいいよ」という言葉に、今度は夏山登山に挑戦ノ。と、だいそれた事を考えている今日この頃です。

最後になりましたが、先生方、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

保育科 木口 節子 (岡山市)
第16期生

十六期生の皆様、先生方お元気です。いらっしゃいますか？
私は、現在若草保育園に勤務し、毎日子供達と走り回っております。早いもので学院を卒業し、又勤め始めて三年四月月という年月が経ってしまいました。勤め始めは一年経たら辞めるつもりでしたが、子供達の可愛い笑顔を見てみると、もう一年頑張ろう、あと一年頑張ろうとやってきました。本当に子供達に可愛いですね。はやく素敵な人な様子をみつけて自分の子供が欲しいと思う今日この頃です。では皆様お身体にお気をつけて、またお会いできる日を楽しみにしております。

P.S 同窓会役員の皆様お世話になっております。今後とも同窓会の輪をどんどん広げて下さる様よろしくお願い致します。

保育科 岡 佐恵子 (倉敷市)
第17期生

創立二十周年おめでとうございます。学院の諸先生方には御無沙汰しておりますが、お変わりございませんか。

私も小さく乳児保育園で働き始めて三年目に入りました。小さな頃から保育にしたいと思っていた私は、この学院で学び、ついに憧れていた保育になれたわけですが、最初の一年は無我夢中だったように思います。甘えていた学生時代として甘く考えていた保育という職業、それを待っていたのは、やはり社会の厳しさでした。考えさせられることの多い日々でした。今でも毎日が勉強ですが...

今、一才児を受けもたせて頂いています。歩くのが上手になり、ことばも少しずつ聞かれ始めた子どもの成長をみていると保育になってよかったとつくづく思います。これから

も、こども達と一緒に成長していける保母でありたいと思っております。先生方、皆様の御健康と御多幸をお祈り致します。

保 育 科 本 田 実子 (赤磐郡 山陽町)

第18期生 保 育 科 十八期生の皆さん、諸先生方お元気で過ごしていきましょう。

私も保母として二年目、まだまだ勉強、勉強の毎日ですが、大好きな子どもたちに囲まれて過ごしています。保母の仕事は思っていた以上に大変だけど、子どもってほんとにかわいいです。みんな/つらいこともあるけどがんばろうね!! 学院は創立二十周年という記念の年を迎えられ誠にめでたうございます。諸先生方のご健康と学院のますますのご発展をお祈り申し上げます。

保 育 科 小 野 敬子 (岡山市) 第19期生

学院の先生方、保育科十九期生の皆様お元気ですか? この間、卒業演奏会で大奮闘し、涙しながら卒業したというのに、はや四カ月。その後おかわりありませんか。

私は今、若草保育園の二才児クラスで良き先輩保母、かわいい二七名の子供たちに囲まれ頑張っています。まだ新人ということ、つらい事も数多くありますが、それ以上に子供たちの笑顔に励まされ、そしてこんな私でも子供たちにとっては信頼できる保母なんだ(かつてにこっちが思っているだけ?)と思うと、つらい事など吹き飛んでしまいます。

学院で勉強は終わったといえども(本当に勉強したのかな)また新たな勉強の始まりです。子供たちと一緒に感動したり驚いたり、共感しながら一歩ずつ成長していけたらなと思っています。今日この頃です。学院の先生方、卒業生の皆様のご

健康とご活躍をお祈りしています。

福 祉 科

福 祉 科 三 吉 明美 (岡山市) 第1期生

学院を卒業して一年半が過ぎましたが、同期の友人も元気に変わりなくなっています。

特養あさひ園も開園して一周年を迎えますが、この一年とても早かったです。初めの頃は人手不足も重なり、とても毎日忙しかったですが、業務にも慣れ若い職員が多いので、自分たちが園の歴史を「創る」という感じでした。

8/3日には地域の方と老人との夏まつりが行われる予定で、入浴日でない日は公用車を利用して運動公園、ショッピング、観劇etc老人も楽しみにしていますが、私達職員も普段見られない老人の表情や言葉にとても感銘したり、大変な仕事ですが頑張っています。皆様、体をこわさないよう頑張ってください。

福 祉 科 立 川 伸子 (愛媛県 川之江市) 第2期生

皆様お元気ですか。想い出深い岡山を離れて、早や五ヶ月がたちます。現在故郷の愛媛に帰る父の入院している特別養護老人ホームで養母として働いています。やっと仕事にも慣れてきました。最初は一日の仕事の流れや、その日の自分の役割りを把握するだけでも大変でした。毎日何か失敗をしては自信を失くす日が続きました。先輩の養母さん達の注意も厳しく時には意地悪に聞こえたりもしました。しかし冷静になれば納得できることばかりでした。実践で身につけている介護と私達の様に学習で得た介護との間にはギャップ

が有ります。お互いがプラスに作用すれば質の高いものになると思います。経験で得た技術・知識の良し所を吸収するのに必至です。老人それぞれの身体の状態・性格・生活歴などににより処置方法も異なります。地に足のついた冷静さと暖かさをかねそなえた養母になるため毎日がんばっています。笑顔だけは忘れず働いています。学院で、そしてアルバイト先の児童院でのことは私の人生にとって貴重な日々でした。

福 祉 科 谷 合 晴江 (岡山市) 第2期生

学院を卒業し電ノ口寮で働き始め、はや数ヶ月がたちました。何から何まで覚える事ばかりで毎日が緊張の連続でしたが、数ヶ月たった今、少し落ちついて仕事が出来るようにになりました。電ノ口寮に入って早々一日外出、一泊旅行などの付添いとして行かせて頂いたりして、いろいろな経験をさせてもらっています。この一年間は自分にとって、あらゆる面で一日一日が勉強の日々と思っています。私と同期のみなさんも新職として各地でがんばっている事と思っています。毎日楽しい事ばかりでもありませんが、そんな時は学院の友達を思い出し、お互いがんばりましょう。

第1看護科

第1看護科 菅原 文子 (姫路市) 第2期生 (旧姓 竹迫)

学院創立二十周年を迎えられ、おめでとございます。私が卒業して早十年がたとうとしています。十年の間色々の事があり職場も二度変りました。現在専業主婦です。今年の十一月に二人目が生まれます。長男が保育所に入り職場復帰といきこんでいた所に二人目ができ喜びの中にちょびり残念な気持ちもあります。二人目が手をはなれれば職場復帰をめざしがんばりたいと思っています。同窓会もここ数年参加できていない状態ですが、時折友達と連絡をとったりしています。一度学院におとずれ諸先生のお顔をうかがいたいと思っております。どうぞみなさまお元気で。

第1看護科 中務紀美子 (広島市) 第3期生 (旧姓 清水)

皆さんお元気ですか? 三年前に結婚し、今は広島に住んでいます。昨年長女が生まれ一才三ヶ月になりました。この夏には二人目が生まれる予定です。今よりもっとと競争になる事でしょう。看護婦も続けています。結婚前は総合病院で夜勤だ何だ頑張っていました。これも診療所に勤務しています。これもけっこう大変です。日常の診療、訪問看護、往診等、忙しい日々を送っています。地域の患者さんとの関わりがとおもしろくもあり、つきあいが長くなるのでなれあいの医療、生活指導にならないよう気をつけなければいけないと三年目を迎えて思っています。仕事に家事に夫の協力をし、みじみありがたいと思いつつ頑張っています。

第1看護科 玉 栄 晴美 (京都府 宇治市) 第4期生 (旧姓 遠藤)

皆さん今日は、学院を卒業後いかがお過ごしでしょうか。私は卒業後、現在の病院に就職して八年目を迎えます。ますます元気に頑張っています。と言いたところですが恥しいことに、これまで体調をくずしたことも多々あり、入院生活を送ったことも看護婦でありながら看護婦の世話になつてしまい、何ともいえない苦痛を味わってしまいました。そのようなことがあって看護婦生命の危機を何度か感じましたが、同じ病院に勤める主人の協力のもと、家庭に入ってしまうことなく現在も大好きなこの仕事を続けています。夜勤回数が多く、また休みがとりにくいとなると嫌でも体調をくずしがちです。看護婦不足が叫ばれる今日ですが、まずは自分の健康に留意して、これからも患者さん達のために頑張っていきたいと思います。

第1看護科 増田ひとみ (神戸市) 第5期生 (旧姓 加藤)

学院を卒業して七年、月日のたつのは本当に早いものです。皆様お元気ですか。私は三葉神戸病院を四年十ヶ月で退職、家庭に入って一年六ヶ月……「同窓会だより」が発行される頃には母親様に専念していると思えます。その為、母と相談しながら心がまえとか手落ちのない準備にあけてくれています。不安が一杯、でも時間を作って母親になる前にやっておく事と称して料理・洋服などの受講学生時代、職場時代の友人とおしゃべりしたり食事をしたり。少しは自分の身体を考えたらと主人に注意される位元気です。一度学院にも遊びに行けたらなと楽しみにしています。

若い看護学生の皆様の活躍を期待しています。

第1看護科 平岡美千代 (岡山市) 第5期生

月日が経つのは早いもので、私が旭川厚生専門学院を卒業してから、すでに七年目になります。私は現在、河田病院に勤務してい

第1看護科 三好 弥生 (京都府八幡市) 第7期生

早いもので当学院を卒業して五年目になりました。一K七期生の皆さんお元気でしょうか？ それぞれの職場で責任ある立場となり、バリバリ働いていることと思います。

私は学生の頃、自他共に認める、やんちゃで看護婦には何となく通っていないのではないかと思っていました。そんなんです。自宅に帰り病院に務めたものの、あまりの勤務に挫折し今は何と教職に就いているのです。あの頃を共に過ごした七期生の方はきっと「えー、やえ子か？」と驚いているのではないのでしょうか？

自分の学生時代をすっかり忘れ、今は毎日「早くしなさい！」「遅刻はゆるしません！」とやっていますでも皆さんも職場で心あたりありませんか？

第1看護科 宮地 恵子 (広島県廿日市市) 第8期生

第一看護科八期生の皆さん、学院の諸先生方お元気であらうでしょうか？

私は学院を卒業後、地元広島島の総合病院に就職しまして、只今ナース四年目で、それなりに自分の肩にかかっている責任など感じながら毎日元気に働いています。

今年の一月、同窓会の広島支部が発足しまして、守屋先生、西崎先生、箱山先生をはじめ、なつかしい同窓生の皆さんに再会することができて大変嬉しく思いました。楽しかった岡山での学生生活を、ふっと思い出さすことができました。これから同窓会が増々発展しますようお祈りいたします。

同期で就職しました一看八期生の皆さん、益田智春さん、二看の伊東安子さんも元気で頑張っています。私と同じ病棟には、一看九期生の大畑美代子さんも勤務しています。皆、元気で

す……
第1看護科 枇杷木こずえ (呉市)
第9期生

皆さんお元気ですか？ そして頑張ってますか？

就職して早三年目。私は今、整形外科、泌尿器科、麻酔科、脳外科の混合病棟に勤務しており、忙しくあたたかい毎日を送っています。

整形外科は、主に脊損患者が多いです。そう、ターミナルケアと同じ位置で、と云われる脊損患者の看護。就職して何人もの脊損患者をみてきました。十代から上は五十代位まで。

看護婦としての毎日は、虚しくなる時やハッとすること、また良かったと笑みが出る時や考えさせられることの繰り返しです。そういった場面に出くわす度に病院は人生の縮図だとつくづく思うのです。

突然の事故にあい受傷。受傷レベルの違いなどいろいろあるけれど、これから先どう生きていけばいいのかが悩む戸惑います。そう、本人、家族共、受け入れはかたがたしいものがあります。病院で自殺しようとして、医師より外出・泊の許可をもらい、自宅で自殺をしようとして、でも必ずしも、こんな悲しい場面ばかりではありません。一生懸命「頑張れ」と励ます家族も、心暖まる場面もあるのです。こんな場面にあうと私も頑張ろうと心からそう思います。いつも笑顔で……とあたり前の事ですが、それが本当に難しくかつ大切なことであるとしみじみ感じています。……そして、今日も、病院の中では様々な人間模様が繰り広げられています。

第1看護科 岩野 綾子 (岡山市)
第11期生

現在、岡山セントラル・シティ病院に勤務しています。小さな病院だけに夜勤では病棟以外に外来・救

急も従事しなければなりません。OPE室など二度と入ることはないと思っていました。患者さんの脈をとりながら間近でOPEを見学させていただく等、とてもよい経験と学びをしています。

第1看護科 天満美津子 (倉敷市)
第11期生 笹部 昭子

十一期生の皆さん、こんにちは。お元気ですか？

就職して、はや四ヶ月が経とうとしています。私は実習した病棟である川大の12F西に就職しています。慣れないことばかりで大変ですが、みんな頑張っているだろうと思いつつ私も頑張っています。

またいつか、みんなで会えるといいですね。倉敷に遊びに来たときには、ぜひ寄って下さい。

第1看護科 三谷 桂子 (岡山市)
第11期生

海や山の美しい季節となりましたが、学院の諸先生方、後輩の皆様、そして同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は、この四月に川崎医科大学附属病院に就職し、毎日四苦八苦しながらも、なんとか元気に働いています。

プロの看護婦の資格を頂いてから早二ヶ月が過ぎようとしています。この間、私にとっては何よりも自分の胸に堂々と刻まれた「看護婦」という名札が重荷でした。就職後、数日しか経っていないNも、何年もの年月を積んだベテランNも患者から見れば、みんな同じNなのです。そのことは責任という言葉となつて私に重くのしかかってきました。しかし今は、徐々にその責任の大きさを、やりがいというものを感ずるようになってきました。当院では、ブライマリーナーシングの形成をとっているので余計にそう感じるのか

もしねえ。

無言のナースコール、言葉のないコミュニケーション、初めは戸惑うことばかりでしたが、今ではなんとか患者さんに勇気づけられ、励まされながら頑張っています。

今は先輩Nから「ヒョコ」と呼ばれている私ですが、いつかきっと立派な看護婦をつけた、にわたりになれるように、これからも向上心を失わず勉強していきたいと思っています。

最後になりましたが学院の今後のますますの御発展をお祈り致しております。

——江口先生、羽井先生へ——
この間は、お会い出来なくて残念でした。また遊びに行かせてもらいます。三宅麗子をよろしくお願いします。

第2看護科

看護科 西村 幸子 (京都市)
第4期生 (旧姓 蔵富)

もはや卒業して二世を向かえる旭川が今より発展し二一世紀に向けて前進することを望みます。

年月のたつのは早いもの、あの橋を自転車で渡った数々の思い出、亡き藤原先生他……この間のようによみがえります。
あの自由さと快活さ、ゆずりの精神はまさに旭川市のモットーとするものである。二一世紀のスペシャリストとして社会のニーズに答えるものでありたい。
四期生の皆様、御元気ですか。いつかクラス会をしたいですね。近畿同窓会もあったことだし、より若さをふりかえってみませんか。
この紙面をお借りして皆様の御健勝をお祈り致します。

看護科 上田 優子 (大津市)
第5期生 (旧姓 大倉)

先日は大阪支部結成式に学生時代からの友人、泉みや子さんと共に出席させていただき先輩や後輩の皆様のお話に、ただただ驚かされるばかりでした。

早いもので学院を卒業して十四年、主婦となり母となつて十年、今は小学校三年の一人娘を学童保育にあづけ精神科のナースとして月／二／三回の深夜勤務を混じえながらパートとしてがんばっている毎日です。

その間、内科・外科・眼科を経験し今の精神科に勤務して三年、毎日心の病いと戦う人々と接して、聴く耳をもつことの大切さ、共感し患者を受け入れられることのむずかしさを知りました。逆に言えば働きながら学ばせてもらっているという感じです。だれだって好きでこのような病気になるのではない。おれだ、って、いつのような形で、このような病院にお世話にならないとは限りません。

今は、ただ暖かい思いやりのある態度を頭において、時としてストレスと戦いながらも理解ある、いいえ理解させてもらっている主人と子供に支えられながら、がんばっている毎日です。

月／一回の学年別看護の勉強会、月／一回の総合勉強会及びD、N、P、H、Nその他各部所を混じえての合同勉強会にも出来るだけ参加するようにして学生時代を思い出しながら勤務している毎日。
これからは心病める人々のために、また自分自身の為にも教え、教えられるながらがんばって行きたいと思っています。

看護科 島岡久美子 (神戸市)
第5期生 (旧姓 瀬戸)

同窓生の皆様、お元気ですか。

学院を卒業して、十五年の年月が流れました。

「同窓会だより」の届く頃、想い出される事は、学院祭の実行委員長を務めさせて頂いた事です。想い出をたぐりよせると、母校での出来事は、私の青春の一ページであり、楽しかった事、苦しかった事、数限りなくつい昨日のような気がします。

仕事も辞めて結婚して、早いもので八年になりますが……いつも仕事にしたいとか、あの頃に戻りたいと思いつつ、家事一筋、あいにく子宝には恵まれません。いつまでも恋人気分です。幸せな毎日を送っています。

今回「同窓会だより」で御挨拶させて頂いた事、事務局の皆様、本当に有難うございました。学院の一層の繁栄をお祈りいたしております。

看護科 橋 順子 (倉敷市)
第5期生 (旧姓 只信)

早いもので学院を卒業して、はや十四年、同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私は、今年の三月に家族でスウェーデンに旅行した。右膝関節を損傷しO.P.の運びとなっていました。現在では、やっと九十五度くらい曲がるようになりました。Dr.に「曲がらない理由はない」と言われながらもなかなか曲がらない足がもどかし、とほろりとくれる日もありました。そんな時学院の先輩にめぐり合い、はつらつと働いておられる様子を見ると、すがすがしさを感じられ、うらやましく思いました。私は卒業後わずか一年しか働いていませんが、いつかチャンスがあれば少しでも医療に近い所に携わりたいと思う今日この頃です。
どうぞ同窓生の皆様お元気で御活躍下さいませ。

第2看護科 脇山 和世 (大阪市) 第7期生

「こんにちは」皆さんお変わりございませんか。

私は卒業と同時に就職しました。

済生会泉尾病院にて十数年が経過しました。その間、外科病棟、中央手術室、外来と移動し、昭和六三年九月には新病院に移転があり、規模は増々大きくなり、どの施設でも叫ばれている人手不足を痛感している。現在、旭川市卒業生も何人か就職してくれました。

現在六名の教育委員の一人として職員(看護部)の教育に関与し頑張っています。いかにして看護職員が定着し看護レベルの向上に役立てるか、又後進をいかにして育てるか日々精進しています。

先日、大阪支部結成に参加し、初めて諸先輩方に接し、皆さん頑張っているのを感じ、又諸先輩方の変わりぬお顔を拝しホッとすると同時に七期生の顔がどこにもなかったことに、さみしさを感じ早々に会場を後にしました。「七期生の皆さん、いつかどこかで会いませうか」

第2看護科 三木恵永子 (姫路市) 第9期生 (旧姓 頼則)

皆様お元気ですか。

私は学院を卒業後、大阪に就職。四年間看護婦として仕事をし、現在は三才と二才の子供のよき母親をしています。毎日の育児でたわいもないことで悩み、又わいおい、がやがやとうるさい毎日を繰り返しています。

先日、五月二六日に関西支部結成の集いに出向させて頂きました。今まで岡山での同窓会に行きたいと思ってなかなか出席することができず残念に思っていたのが、今回は大阪でということ、主人にもOKをもらい主人の母に二人の子供を預

け、いそいそと出かけ楽しく一日を過ごさせて頂きありがとうございます。今後は子供連れで出席させて頂こうと思っております。よろしくお願ひします。

では、お体を大切に、また会える日を楽しみにしています。

第2看護科 落畑さとみ (広島県) 第11期生

創立二十周年おめでとうござい

学院を卒業して八年になりますが、御無沙汰ばかりしています。諸先生方、同期の皆様お元気ですか？

いつも同窓会だよりを楽しみに読ませて頂いています。今、精神科に勤務しています。病院の大改築にあたり、多忙な日々を送っています。三年前に同期であり、又、同じ職場であった、K.さんを亡くしました。

悲しみを乗り越えて彼女の分も今、仕事に燃えています。旭川市での二年間は単身赴任の形でしたので大変でしたが、子供達も高三、高一、小一となりました。卒業後に一人頑張りました。年令だけは〇〇才以上ですが、いつも若くさわやかな笑顔のNsでありたいと思っています。

第2看護科 宮地 富美 (高知市) 第11期生

学院の諸先生方、同期生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

卒業して八年も過ぎたのです。岡山での二年間を昨日の事の様に思い出します。

学院には、二、三年に一度は顔を出す機会がありますが、同期の方と会う時間がなくて残念に思っています。

私は、入学前から勤務していた土佐希望の家で重度の障害を持った園生と共に、笑ったり、泣いたり、怒ったり反省させられたり忙しく、あたたかく毎日を送っています。

四国も島国ではなく、高知もずいぶん近くなりました。高知においでの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

第2看護科 原田真由美 (大阪府) 第12期生 (旧姓 武本)

皆様お元気でお過ごしでしょうか。いますか。お便り遅くなって申し訳ありません。切迫流産で入院しておりましたので、今はお静養で順調です。四月に英国より帰国し蒸し暑い夏を迎えながら、しのぎやすかった英国生活を思い出しています。長い様に短かった四年間でしたが、英

国を、そして英国人を理解できた様な気がします。

先日、英国から届いたばかりの船便もそのままだの状態です。きつと落ち着くのに一年位かかるのでしょうか。長男四才、長女二才、四ヶ月のおなををかかえながら子育て奮闘中です。子供に教えられる、共に成長していきたいと思っています。

皆様、暑い折くれぐれもお身体大切にしてくださいませ。

第2看護科 横原 晃司 (尾道市) 第17期生

卒業して早いもので、もう三年目となりました。

今、私は尾道市内にある社団宏知会・青山病院に勤務しています。患者数一八〇名余りの精神科病棟ですが、その中で患者数九名の断酒病棟が担当です。断酒病棟の患者はそれぞれに自己主張が強く教えられることの多い毎日ですが、少しでも有意義な入院生活が送れる様な援助が出来ないものかと、四苦八苦している状況です。その中で基本の大切さ、実社会に入ってから勉強の大切さを痛感し、又それにも増して看護者としての人生観、物に対するとらえ方、日常生活に於ける態度等、自分自身の人間性というものが患者に与える影響の大きさを痛感している所です。

自分自身がいかにか充実した責任ある人生を送ることが出来るか、どうか看護者としての原点であると考え、それを模索する今日このごろです。病院のすぐ近くに千光寺山があり、文学の小路、古寺巡り、又春には桜が咲きほこり、大変風光明媚な所です。近くに寄られたら、ついでに足を延ばされ思い出のページにきれいなことをおすすすめいたします。

第2看護科 亀川 政英 (広島県) 第18期生

卒業して早くも一年半が経過しました。

現在私は、青山病院という単科の精神科に勤務しています。幸いなことに学院卒業の先輩が二名いて、色々指導を受けながら楽しい毎日を送っています。

所属は社会復帰病棟で病棟内では生活療法を、病棟を離れては院外作業係として患者さんがよりスムーズに社会復帰ができるように地域社会と患者さんのパイプ役として、個々の患者さんがその人なりに有意義な人生を送ってもらえればと思います。日々努力を続けています。とは言うものの迷い、悩むことが多く力不足を感じていますが、今後も一生懸命頑張っていくつもりです。

第2看護科 高橋 幹枝 (愛媛県) 第19期生

学院を卒業し看護婦として働き始めては四ヶ月。職場の雰囲気にも慣れ、なんとか看護婦らしく仕事ができるようになった今日このごろです。若いうちに難しいことを沢山覚えたい方いいと思います。自分から希望して外科と整形の混合病棟に配属勤務となりましたが、思っていた以上に忙しく、一日があつというまに過ぎてしまいます。毎日失敗のくり返

しで、先輩の看護婦さん、患者さんに迷惑をかけることも多々ありますが、周りの人に助けてもらいながら、なんとか仕事をこなしているような状態です。学生の時は臨床実習がいやで、こんなもの早くおわってしまえばいいと安易に考えていましたが、実際に職場に出てみると、もっと真面目に勉強しておけばよかったと後悔ばかりしています。

今はまだ一人では自信がなくて本当に大丈夫なのだろうか、私にこの仕事がつとまるものなのか不安になることもあります。患者さんの「有難う看護婦さん」の一言を何よりも心の支え、糧として、これからも頑張っていきたいと思っています。

編集後記

今年の夏は不安定な気候でした。また残暑も殊の外きびしいことでしたが、会員の皆様お元気にお過ごしでしたでしょうか。

○忙しいところ原稿をお送り下さいました。会員の皆様にお礼を申し上げます。

○学院創立20周年記念の年で、同窓会も岡山支部に続いて、広島、関西支部が発足しましたので、支部誕生について特記しました。

○学院創立20周年、同窓会発足15周年の記念の年に同窓会全会員の名簿を製作中です。同封の振替用紙により申し込んで下さい。

○本年の同窓会本部の総会は記念式と学院祭に合わせて、十一月三日(日)午後一時より二時までとなりました。多数御出席をお待ちしております。

○会員の住所変更の場合には必ず同窓会事務局へ御一報下さい。

(同窓会事務局)